

議会だより

しょうわ

2015.7.22

No. **166**

山梨県昭和町議会
<http://www.town.showayamanashi.jp/>

よく
観察して
みよう

あさがおって
どんな形だろう？

朝顔の観察授業
(常永小学校)

特集 **新しい議会がスタート** ②

常永地区 多目的広場工事はじまる ④

一般質問 **ここが聞きたい** ⑧

告知 **議会モニター募集** ⑭

会がスタート!

会で議会構成決まる

この度、副議長に選任され、責任の重さを痛感しております。

議長の補佐役として、議会基本条例を基に、行政の課題解決に向け共通認識を持ち、町政の発展に力を注ぐとともに、さらに信頼される議会、開かれた議会の構築に努めてまいります。

皆さまのご指導ご鞭撻、よろしくお願い申し上げます。



副議長
河田あけみ



議長
三井 猛

このたび、5月の臨時議会で議長に推挙され、誠に光栄であるとともに、職責の重大さを深く認識し、身の引き締まる思いです。

小さくても財政豊かといわれた昭和町も、財政状況は厳しくなりつつあります。さらなる議会改革・行財政改革が求められる中での議長就任ですが、町民の声を行政に反映すべき、新たな視点で議会の役割を果たしたいと思っております。

今後も皆さま方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます、就任のあいさついたします。



総務 常任委員会

林 和仁
依田 茂巳
田中 博愛
塚原 将司
鷹野 一雄

耳を傾け
町民と共に!

産業土木 常任委員会

中澤 康夫
葉袋 義久
遠藤 辰男
樋口 敏夫
堀 門太

町の特性を
見極めるぞ!



=委員長 =副委員長

特集

新しい議

議員一般選挙後臨時

教育厚生 常任委員会

石原 高明
金丸 富一
河田 あけみ
河住 保茂
石原 一好

人が支え合える
社会を目指して!



広報編集 特別委員会

石原 高明
堀 門太
林 和仁
石原 一好
金丸 富一
依田 茂巳

どんな広報に
発展していくか!

水源対策特別委員会

◎鷹野 一雄 ○堀 門太 他14委員

地方分権対策特別委員会

◎遠藤 辰男 ○石原 一好 他14委員

議会運営委員会

◎塚原 将司 ○林 和仁
中澤 康夫 石原 高明
鷹野 一雄 遠藤 辰男
河田あけみ

甲府地区広域行政事務組合議会

三井 猛 田中 博愛

中巨摩地区広域事務組合議会

河田あけみ 依田 茂巳

三郡衛生組合議会

樋口 敏夫 葉袋 義久

後期高齢者医療広域連合議会

中澤 康夫

消防委員

三井 猛 鷹野 一雄
林 和仁 葉袋 義久

監査委員

河住 保茂

工事はじまる!

6月議会で
決まったこと

—平成27年度一般会計補正予算—

一般会計 全員賛成で可決

財源として、国・県からの施設再生可能エネルギー等導入推進事業費補助金や学校施設環境改善交付金、そして財政調整基金を取り崩し、計2億687万円を増額し、総額67億7987万円としました。

おもな使いみち

・飯喰公会堂建設費等補助金	3550万円
・道水路改良工事	2840万円
・多目的広場太陽光照明設置工事	2100万円
・常永小屋内運動場天井工事	1466万円



飯喰公会堂完成予想図(H28.2月完成予定)

特別会計 全員賛成で可決

・介護サービス会計	139万円増(総額:1753万円)
・下水道事業会計	7万円減(総額:10億13万円)

5月臨時会

専決処分

全員賛成で可決

- ・国民健康保険税条例の一部改正
- ・税条例等の一部改正
- ・平成26年度一般会計補正予算(第6号)
- ・平成26年度湧水対策事業特別会計補正予算(第2号)

平成27年6月定例会は、6月9日から15日までの会期7日間で開かれました。町長から追加案件も含め、条例関係4件、平成27年度一般会計・特別会計補正予算3件、その他4件の合計11件が提出され、議決しました。一般質問では4人の議員が7件について活発な質問・意見を展開しました。

常永地区 多目的広場

条例の改正

- ・子育て支援医療費助成金の支給に関する条例の改正
- ・子育て世帯の経済的負担を軽減するため、医療費助成金の支給対象者を拡大。
- ・ひとり親家庭医療費助成金の支給に関する条例改正

- ・重度心身障害者医療費助成金の支給に関する条例の改正
- ・子育て支援医療費助成金の支給対象者を拡大することに伴う改正。

対象年齢

対象年齢	旧	新
満12歳		
満15歳		

- ・介護保険条例中改正
- 平成27年度から29年度までの各年度における、第1号被保険者の保険料率を、2万9700円とするもの。
全員賛成で可決

町道路線の認定

- 町道528号線(飯喰区)、726号線(河東中島区)、727号線・728号線・729号線(紙漣阿原区)を町道として認定するもの。
- 全員賛成で可決

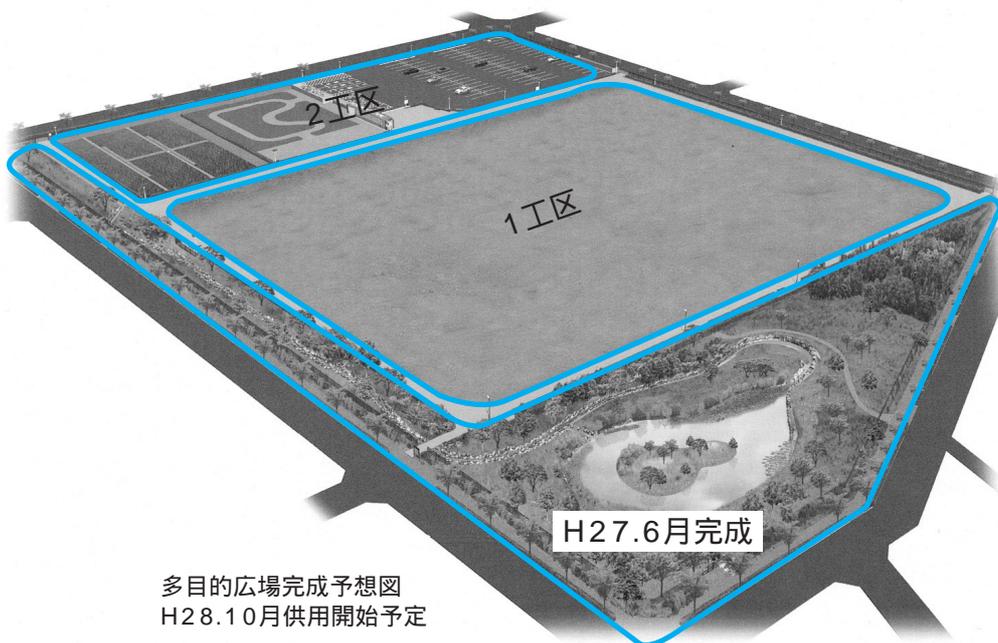
規約の変更

- ・甲府地区広域行政事務組合規約の変更

これまで「災害弱者緊急通報システムに付置した生活リズムセンサーの取扱い事務」について、甲府地区広域行政事務組合の事務とされていたが、各組織市町が事業主体となり新たに「ふれあいペンダント(緊急通報システム)」事業を実施するため、組合規約関係条項を変更するもの。(H27年10月1日より)
全員賛成で可決

請負契約

- ・多目的広場整備工事
 - 【1工区】請負契約締結
 - ・多目的広場整備工事
 - 【2工区】請負契約締結
- 全員賛成で可決



多目的広場完成予想図
H28.10月供用開始予定

総務常任委員会

災害用備蓄食糧の処分方法は

河住議員 災害用備蓄食糧のカロリーメイトの賞味期限が8月14日に切れる。もっと早い時期に処分方法を考えられなかったのか。

企画財政課長 賞味期限の1カ月前に買い替え、従前の備蓄食糧は社会福祉協議会を通じて、フードバンク山梨に寄贈する。

ふれあいペンダントの運用は

河住議員 ふれあいペンダントは今後増えると思うが、NPO法人が受けて消防に通報するが、二重手間にならないか。

総務課長 緊急性性に対する判断が難しいが、10人体制で業務を行っており、1件につき2人体制で話の聞き役と、消防との連絡調整役をしており、業務的にはスムーズである。

用語解説

ふれあいペンダント

(緊急通報システム)

高齢者の見守りのためのシステム



水源対策特別委員会

工業団地北の水位が下がる要因は

田中議員 水位に変化がみられ、高いときは田畑等がドブ田になる。甲府市の対応は。

環境経済課長 補償井戸揚水調整を、甲府市上下水道局に依頼している。

田中議員 測定によると、釜無工業団地公園付近の水位が他に比べ低いが要因はまた専門家による検証も必要と思うが。

環境経済課長 専門家の見解を仰ぐことも検討したいが、地表面からの測定のため、標高差により低いこともある。

地方分権対策特別委員会

増えるふるさと納税は

依田議員 6月8日現在、63万円の寄付金があるが使途は。総務課長 寄付者の希望を聞き、使途は福祉・文化・一般に分かれている。

石原(高)議員 高額寄付者への特典は。総務課長 柔軟に考えており、今年度中、早急に検討し報告する。

総合戦略策定は

金丸議員 5カ年計画だが、担当者の異動時の対応は。

総務課長 会議等で職員間の連携を図り、情報共有を密にし、取り組んでいる。石原(一)議員 企業流出の防止策は。総務課長 釜無工業会とは懇談会等、協

用語解説

総合戦略

まち・ひと・しごと創生法に基づき策定するもの。国はこの法律に基づき新しい交付金の創設にあたり、市町村ごとに総合戦略を策定するよう求めている。

教育厚生常任委員会

子育て支援医療費 助成金の支給は

河田議員 財源に国庫補助の見込みはあるのか。
町民窓口課長 対象になるように努めるが、現段階では確定ではない。

河住議員 国庫補助がある場合、期間は1年から5年か。

町民窓口課長 計画は5年で策定する。国の判断が不明で断言できない。

依田議員 今回の改正に伴うシステム改修費が実際の医療費給付金を上回るが。

町民窓口課長 現状の事務を考えると改修は必要不可欠。改修業者に努力を促し、負担を少なくしたい。

介護保険条例改正は

金丸議員 改正の経緯は。
いきいき健康課長 法律の改正に伴い、低所得者への軽減措置

として改正する。

石原(二)議員 シルバー人材センターの負担金使途は。

福祉課長 基本的に人件費と思われる。サポート事業補助金は家事援助を進めるための人件費に充てる。

学力向上 フォローアップは

河住議員 遅れ補習の対象は1年生から6年生までか。保護者対応は済んでいるか。

学校教育課長 対象は小・中学生全て。学校ごと、保護者の承諾を得ながら希望を取り実施する予定。

河住議員 希望者のみでなく全児童、生徒に実施しないと不平等では。本人が進んで手をあげるものなのか。

教育長 学力調査では当町は学力差が大きいため底上げが必要。学力差のある子には保護者にも働きかけ協力してもらおうつもり。

産業土木常任委員会

町道路線認定の時期は

田中議員 飯喰区内の道路は新設だが、紙鹿阿原区内3件の道路は完成し供用されている。認定の時期はどの時点で決めるのか。

建設課長 飯喰区内の道路は地区計画により、今から整備する道路であり、都市整備課が担当。紙鹿阿原区内道路は、開発道路で認定が必要であり、今後も随時認定を進める。

太陽光発電は 非常時の対応か

林議員 清水新居区ゆめてらすに、太陽光発電システムを設置するが、非常時に対応するものか。

環境経済課長 災害時集合地のため、基本的に非常時対応。通常時も使用でき、節電になる。

多目的広場の 施設環境は

依田議員 常永土地多目的広場の太陽光発電施設は、曇りが続く照明機能が衰えるのでは。都市整備課長 LEDの省電力型で蓄えた電力は夜間使用するが、実際に使用してみないと何ともいえない。

堀議員 ビオトープにはホタルの幼虫を放流するなど、何か事業に活用していく予定は。

都市整備課長 ホタルに突出したことは考えていない。完成後に生かしていくことがあれば関連課と協議し進めていきたい。

薬袋議員 防犯カメラ設置等、安全対策は。
都市整備課長 現在の工事には計画していないが、防犯カメラやマンホールトイレ(災害時用)の設置、補償井戸との配管設備等を追加し、進めていきたい。

施策を問う

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 地方版総合戦略の進め方は

A 総合計画と整合し連携する



依田 茂巳 議員

依田 第6次総合計画策定は、平成28年度から10年間の長期ビジョンを示す計画だが、より暮らしやすい昭和町を目指すため、地方版総合戦略と互いに相乗効果を狙える進め方が必要だ。町長の考えは。



創造 そして実現！まちの未来

町長 地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略は、4つの基本的方向で実現すべき成果として、「重要業績評価指標」を示し、具体的施策を設定し、特にソフト事業の推進が最優先される。総合戦略策定は総合計画と整合性を図り、十分に連携したいと考えている。

Q 地方創生コンシェルジュ制度と総合計画は

A 広く意見を聞き計画を策定する

依田 国は地方創生の中で、人的支援を掲げている。甲府市との人材交流も進めているが、地方創生コンシェルジュ制度も活用でき、より充実したビジョン策定が可能と考えるが、どのように進めていくのか。また女性の視点をどう取り入れていくのか。

町長 町の総合計画策定に關し、地方創生コンシェルジュの活用は考えていないが、町民アンケート調査や各種団体のヒアリング実施など、広くご意見を聴き、総合計画審議会を進めていく。行政課題に女性の意見を取り入れることは非常に重要で、女性団体連絡協議会などの意見も聞き、計画を策定していきたい。

Q まちの活性化策は

A 土地確保や財政見通しが必要

依田 第6次総合計画の中で、（公会堂）や拠点となる場の設置計画を位置づけることは、防災や子育て、人材の発掘、多世代交流等多大な効果を生み出す。新たな発想が必要だが、町長の考えは。

町長 人口減少や少子高齢化社会の到来は、日本全体で確実に進行し、人口増加の本町も将来的に同じ傾向になる。総合計画策定は、時代背景や社会状況等に柔軟に対応でき、どのような施策が効果的であるか、長期的な観点で検討していく必要がある。公会堂や広場の整備は、財源確保と地域活性化の両面を伴い、土地の確保や財政状況の見通しが必要だが、今後も継続して検討していきたい。

Q 隣接自治体と連携した地域活性化は A 魅力あるまちづくりを進めていく



いしはら たかあき
石原 高明 議員

石原 人口問題は一自治体で解決できる問題ではなく、町民の生活圏域にあるすべての自治体の総合力が問われる。国立社会保障・人口問題研究所によると町の人口は平成27年が18、107万人、10年後の37年は18、324人と若干増加するが、20年間はほぼ同規模の人口推移とされている。町の人口の年齢構成は65歳以上の人口割合は10年後に24・0%、20年後30・2%で、3人に1人が65歳以上という状況だ。

住民生活は自治体の枠を超



町の発展を見据えた連携を(ふるさとふれあい祭り)

え、リニア中央新幹線や中部横断自動車道など、人やモノの流れが大きく変わる時代がすぐそこまで来ている。リニア開通に伴うまちづくりなど、大きなプロジェクトは関係自治体が協議する場があるが、身近な住民生活に直結したソ

フト事業に自治体間の協力体制、連携体制を新たにつくる必要がある。

これらを踏まえ、隣接自治体と連携した施策展開と体制を形作り、より高い視点での町の発展を見据えた連携を、検討する考えがあるか。

町長 人口問題や少子高齢化がもたらす影響は、医療・福祉・教育など、さまざまな分野に及ぶ。今後、町が将来に向けて発展していくために、限られた人員や財源、行財政基盤の中で住民のニーズに対応し、事務の効率化を図っていくことが必要だ。甲府市との人事交流も行っており、人事交流を通じ親密に情報交換を行い、リニア新駅設置に伴う交通網等整備も連携を深めていきたい。

また、子ども医療費助成制度も、近隣市と勉強会を実施し、検討を重ねた結果、平成27年10月から中央市と連携し、助成対象を中学校3年生まで拡大したいと考えている。

質の高い行政サービスを安定的に提供するため、近隣自治体の資源や機能等の活用を図りながら、効果的な自治体間の連携の手法を検討し、魅力ある町づくりを進めていきたい。

Q 特別支援教育は A きめ細かく対応している



かわずみ やすしげ
河住 保茂 議員

河住 学校教育法が改正され、平成19年4月から施行されている。特別支援教育が位置付けられ、障害のある児童・生徒の自立や社会参加に向け、主体的な取り組みを支援し、適切な指導や必要な支援を行うことが必要だ。ダウン症など障害のある児童の教育的支援の現状と今後の考えは。特別支援教育を広く周知するべきだが現状は。

教育長

特別支援教育は児童生徒の自立や社会参加に向け、障害の種類・程度に応じたきめ細かな対応を行っている。

特別の対応が必要な場合、町の教育指導員や町単教員が授業補助や、生活面の補助を行うようにしており、生徒指導部会や職員会議の中で、全教職員が情報を共有するよう心がけている。

特別支援教育は児童生徒の自立や社会参加に向け、障害の種類・程度に応じたきめ細かな対応を行っている。

教育委員会や学校として、子どもたちだけでなく、保護者にも特別支援教育の必要性と現状理解が大切で、働きかけを積極的に行っていくことが必要と考えている。今後、特別支援教育に力を注ぎ、障害のある者となないものが共に学べる教育の推進に努力していきたい。



道路サポーターを推奨し、町道の管理を

Q 道路サポーター 制度の活用は

A 各区の協力が不可欠

河住

各地区や企業、ボランティア団体などに道路の清掃・道路植樹帯の管理ガードレールやベンチの塗装や簡単な補修などを行なうため、町が活動の保険料を負担し、清掃用具などの資機材貸与と技術的な指導を行うなど、道路サポーター制度を活用する考えはないか。

町長

道路サポーター制度は行政が必要な各種支援を行うほか、サポーター団体ではできない部分や協働して行うべき作業、損傷情報に対する対応を受け持つことになる。この道路サポーター制度は各区の協力が不可欠で、土木委員会を通じて各区の考えを伺い、検討していきたい。

Q 子ども・子育て支援事業計画の課題は

A 受け入れ施設の確保が課題



かわた 河田あけみ 議員



充実した手厚い学童保育を

河田

本年3月「子どもが、親が、地域が育つ、子育て支援のまち昭和町」を基本理念とした、昭和町子ども・子育て支援事業計画がスタートした。

今回の子ども・子育て支援法は、女性が子育てをしながら働きやすい環境を整えるため、小学3年生までの放課後学童保育を、6年生まで対象にすることが盛り込まれた。常永小学校区の学童保育施設は、今後増築等が検討されているが、学期途中で転入してくる学童保育希望者には、応

えられない現状がある。今後の学童保育の利用推移と、利用者の不公平感について、町の考えを聞きたい。

学童保育の場は、子育て支援だけでなく、高齢者との交流拠点としても、地域の担い手づくりに活用されている地域もある。公会堂等の利用を町内のモデルとして検討すべきだ。

町長

子育てしやすい町として、全国でも注目されている昭和町として、子どもの総合窓口となるような「子ども課」の子育て支援課（仮称）を設置、住民サービスの向上に当たるときではと考えるが、町の考えは。

子ども・子育て支援制度に合わせ、3月

に昭和町子ども・子育て支援事業計画を定め、さまざまな事業に取り組んでいるが、全ての児童館が定員オーバーで転入児童の受け入れができず、受け入れ施設の確保が課題だ。ファミリーサポートは会員相互の有償ボランティア制度で、基本的に利用者が援助会員に料金を支払い成り立つ仕組み。町では学童保育を無料で実施しており、今後、学童保育の保護者負担も協議する必要がある。

地域の子育て支援定着のため、公会堂の利用をという意見は、職員の配置や責任の所在、安全管理上の課題もあり、モデルとして実施することに難しさを感じている。学童保育利用料の徴収を検討しながら、学童保育を必要とする家庭が入会できるよう、常永児童館の増築で受け入れ態勢を整備していきたい。

総合窓口になるような課の新設については、福祉業務、介護保険等の業務を精査する中で検討していく。

広報改革を求めて...

広報編集特別委員会研修

7月7日～8日に広報編集特別委員会で県外研修に行ってきました。1日目は埼玉県小川町議会へ行政視察。小川町議会の広報誌は読みやすいレイアウトで見た目もすっきりとした構成でデザイン性も豊か。そんな広報誌の編集づくりの背景を学ぶことができました。



小川町議会の皆さま、ありがとうございました



対話と参加の広報を目指し

2日目は県町村議会議長会による町村議会広報クリニックに出席しました。全国各町村議会広報誌を参照し、講師による指摘、講義を受けてきました。2日を通し、改めて広報編集の難しさ、有意義さを実感しました。

栄誉ある賞をいただきました!!

一般交通安全功労団体表彰

平成27年6月

南甲府交通安全協会より交通安全功労団体として表彰をいただきました。これからも昭和町議会として地域の安全を守る活動に尽力していきます。

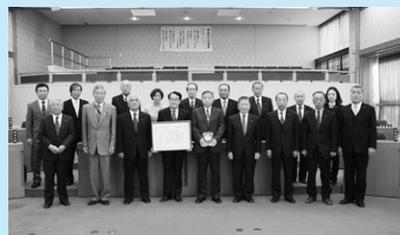


交通安全運動街頭指導を行っています(年4回)

全国町村議会議長会 町村議会特別表彰

平成27年2月

全国町村議会議長会において町村議会特別表彰を受賞しました。これは地域の振興発展、及び住民福祉の向上のため議会の活性化に積極的に取り組んだことへの表彰で、県内初の受賞であります。これからも賞に恥じることなく、議会改革に邁進していきます。



受賞した喜びを
祝い議場にて

全国町村議会正副議長
研修会にてパネリスト
として出席(三井猛議長)



追跡

あの
一般質問は
どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



中学生まで医療費無料化を

平成22年6月議会 質問者：深澤平助議員

問 町の子ども医療費無料化は、平成20年から小学6年生までを対象としているが、県内14町村中すでに11町村が中学3年生までを対象としている。本町でも早期実現を切望するが。

答 医療費無料化に伴う財源確保も必要のため、高齢者施策と同様、相対的に検討していく。

その後

今定例会（平成27年6月）において、医療費無料化を15歳（中学3年生）までに引き上げる。平成27年10月から施行。



子育て支援の充実へ



平成27年度 議員研修始まる!!

山梨学院大学との提携行事

日 程	内 容	講 師
7月 9日(木)	「地方自治と地方議会改革入門」	江藤俊昭政治行政学科教授
7月14日(火)	「議会改革の到達点 - 議会基本条例を使いこなす」	〃
7月23日(木)	「地方創生時代の総合計画の意義と課題」	〃
8月21日(金)	「大型商業施設と既存商店の共存のあり方について」	今井久現代ビジネス学部教授
9月29日(火)	「これからの高齢化社会と地域福祉」	竹端寛政治行政学科教授
10月19日(月)	「財政状況の見極め方と不交付団体の財政の課題」	片田興法学科教授
11月12日(木)	「市街化調整区域の諸課題について」	中井道夫政治行政学科教授
1月15日(金)	「新しい教育委員会制度とその課題」	外川伸一政治行政学科教授

12月4日(金)には山梨学院大学においてワークショップを開催!

告知 議会モニター募集!!

昭和町議会では、昭和町議会モニター設置要綱に基づき、議会モニターを募集します。この制度は、モニターの皆さまから町づくりや議会の運営に関し、ご意見やアイデアをいただき「住んでよかった昭和町」の実現に反映させるため制定したものです。

募集要領

資 格

- ・年齢18歳以上の町民で昭和町在住、在勤、在学する人（公務員等を除く）
- ・議会のしくみおよび運営に関心のある人
- ・議会広報に関心のある人

定 員

- ・常永、押原、西条地区各2名 計6名

任 期

- ・2年（平成27年9月委嘱予定）

謝 礼

- ・無償（議長が必要と認めるときは支給）

募集期間

- ・平成27年8月31日まで

問い合わせ先および申込み先

昭和町役場議会事務局：今澤、磯部

電話：055 - 275 - 8842 eメール：gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

ヒント 議会だより166号(この号)を読んでください

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- ① 特集 新議会構成、 会にてスタート!
- ② 広場いよいよ工事はじまる!
- ③ 広報改革を求め…埼玉県 町議会視察!
- ④ 名誉ある賞!当議会が全国町村議会 に輝く!!

165号クイズの答え

特別表彰

4

松崎・小布施

前回の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました!

今まで深く読んでいただきありがとうございました。
議員の方々の町を思う気持ちが伝わり、
来月、町長様と意見に答えて
町のため努力なされておられる
様子が伺えました。安心して住める
町づくりと町民として感謝いたします。

(75歳・女性)



議会だよりを読んだ感想

議員の一般質問の内容を知ることができて役にたった。

(56歳・女性)

まさか、町会議員選挙のおいでさうございませう
角野町長が無投票だったりで、それはいじめた
様です。一人暮らし、は、将来の事を考える
と不安だらけです。小さい町だけに、お年寄り
事もきめこまかく考えてほしいです。安心して
暮らしたいです。よろしくお願いします!!

(68歳・女性)

次はあなたに
当たるかも!?



《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・議会だよりを読んだ感想」を記入してください。FAXやメールも受け付けます。

議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

〒409-3880 昭和町押越542-2

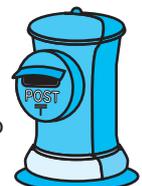
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛

FAX : 055-275-5250

メール : gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

8月末日 消印有効



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。



住み良い町



築地新居区

奥平 一美さん

一生住むなら昭和町にしよう。そう思うようになったのは11年前、まだ町内のアパートに住んでいたころ、町の母親学級に参加した時でした。高齢出産等で不安を抱えていた私が、知識が豊富で優しい笑顔の若い保健師さんに、どれほど勇気づけられたことが、そこには確かに「町民のために」という思いがありました。

その後、築地新居に移り住んだ私たち家族を、地域の皆さんが温かく受け入れてくださいました。今も、玄関先に野菜を置いていてくださる方、娘が一人で留守番をしている時、お菓子を持って様子を見に来てくださる方、編み物を教えてくださる方、皆さまには心から感謝しております。

娘は言います。「あいさつするのが大好き。だつてみんなうれしい顔してくれるもん。」地域に守り育てられ、おかげさまで伸び伸びと、まっすぐに成長しております。昨年、11年前にお世話になった保健師さんが、総合会館で「ななちゃん？大きくなったねえ」と声をかけてくださり、感激しました。小さいからこそ支えあえる町、便利な町に発展しても、温かい人のつながりは続いています。

可能性を秘めた昭和町



押越区

小澤 篤さん

昨年9月に甲府市より昭和町に引っ越し、歯科医院を開業してはや1年になります。人口減少が叫ばれる山梨において、昭和町は人口増加傾向にあり、今後も発展する可能性を持つ地域だと思います。

大型商業施設、大小の飲食店や商店等も多く、居住するのに利便性があり、なおかつ自然も残り暮らしやすい。

たまに仕事などで東京など都市部に行きますと、狭い土地に高いビル、交通量も多く全てがせこましく騒がしい。たしかに公共交通機関が網羅されて便利であり、娯楽も多くありますが、「ここで一生暮らすのか、子どもを育てるのか」と考えると、疑問を抱きます。

最近の調査で移住したい県の一位に山梨が選ばれました。田舎でありながら首都圏にあり、居住環境の良さと自動車や電車で容易に東京に出られるためと思われれます。

山梨はまだまだ発展する可能性を秘めている県です。その山梨で、その中でも昭和町での暮らしをより快適にできるよう、地域に根付き、また歯科医として皆さまのお口の健康から、地域に貢献できればと考えております。

議会だよりしろうわ

平成26年度

県で最優秀賞を受賞



広報コンクール議会広報紙部門
町村部門において受賞した 160号

- 広報編集特別委員会
- 委員長 石原 高明
- 副委員長 堀 門太
- 委員 林 和仁
- 金丸 富一
- 石原 一好
- 依田 茂巳

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

9月3日(木)開催予定です

議会事務局 TEL:055-275-8842

(今津・磯部)



発行

山梨県昭和町議会

T:409-3880

TEL:055-275-2111(代)

山梨県中巨摩郡昭和町押越5-42-2 FAX:055-275-5250

